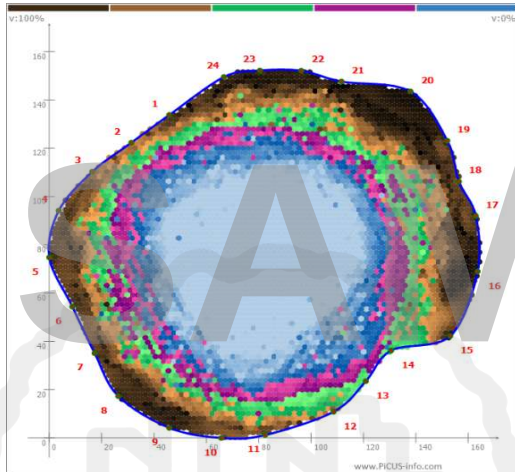
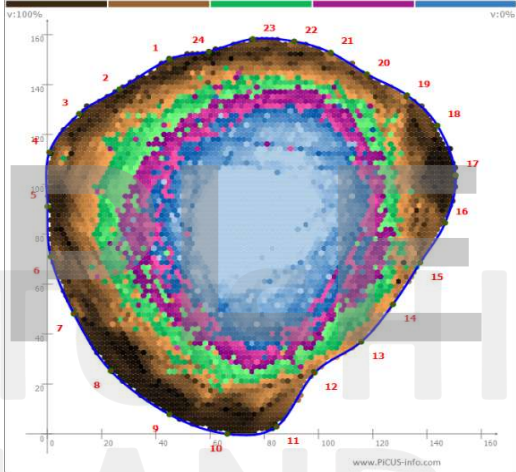
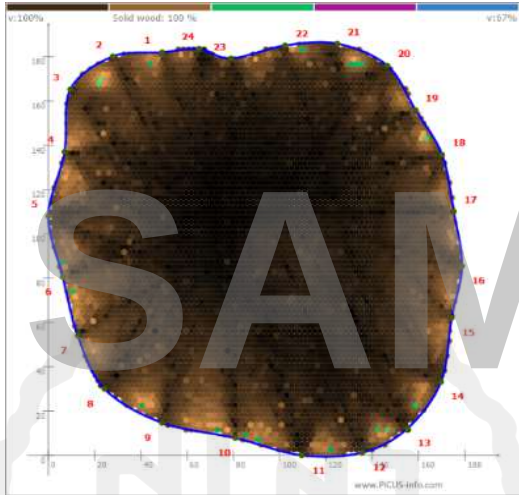
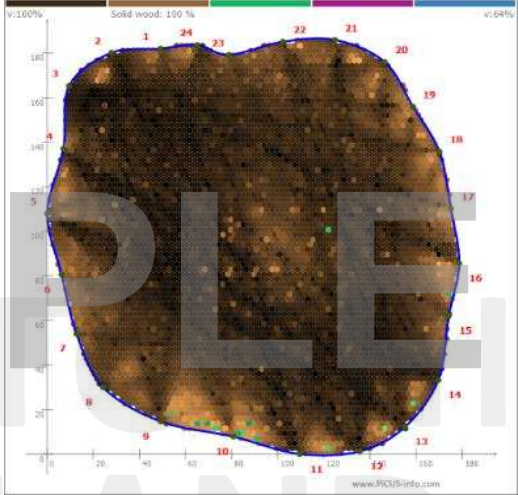


腐朽診断カルテ（ピカス）

樹木断面画像診断結果							
診断場所			樹木番号	1	樹種名	ケヤキ	
測定日			測定機種	PiCUS-3		測定者	
測定位置	GL = 30cm, 50cm		測定幹周	GL30・GL50ともに467cm			
PICUSデータ (異常の程度： GL0.3m = 70%, GL0.5m = 62%)							
北		G.L+0.30 m		北		G.L+0.50 m	
							
正常		30 %		正常		38 %	
軽度の異常		13 %		軽度の異常		14 %	
中・重度異常、空洞		57 %		中・重度異常、空洞		48 %	
異常の程度		70 %		異常の程度		62 %	
腐朽の程度		茶系色・・・正常 緑・・・軽度の異常 紫・・・中度の異常 青・・・重度の異常 白・・・空洞の可能性					
所 見		腐朽空洞率はGL 0.3m = 70%、GL0.5m=62%で、閾値50%を大きく超える異常値が検出された。主幹上部には開口空洞や枯れ枝（大）等がみられることから、折損や倒木の可能性が極めて高く、至急撤去・植え替え・樹高を下げる剪定等の検討が必要である。					
測定位置写真		G.L+0.5m G.L+0.3m 					

腐朽診断カルテ（ピカス）

樹木断面画像診断結果							
診断場所				樹木番号	2	樹種名	クスノキ
測定日			測定機種	PiCUS-3		測定者	
測定位置	GL = 30cm, 100cm		測定幹周	GL30=605cm GL100=532cm			
PICUSデータ				(異常の程度: GL0.3m = 0%, GL1.0m = 0%)			
北		G.L+0.30 m		北		G.L+1.00 m	
							
正常		100 %		正常		100 %	
軽度の異常		0 %		軽度の異常		0 %	
中・重度異常、空洞		0 %		中・重度異常、空洞		0 %	
異常の程度		0 %		異常の程度		0 %	
腐朽の程度		茶系色・・・正常 緑・・・軽度の異常 紫・・・中度の異常 青・・・重度の異常 白・・・空洞の可能性					
所 見		機器診断の結果、腐朽空洞率はGL0.3mと1.0mで0.0%で異常値は検出されず、目立った所見はなかった。					
測定位置写真		G.L+1.0m G.L+0.3m 					